

2020年度の事業報告書
2020年5月1日から2021年4月30日まで

特定非営利活動法人ratik

1 事業の成果

今期は新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業活動に大きな影響がありました。具体的には、

- ・ 講義のオンライン化など感染予防にかかる公務増や、罹患による、パートナーである大学研究者の書籍原稿執筆等の遅延
- ・ 事務局業務をおこなう予定だった学会大会の開催延期（中止）
- ・ 対面での打ち合わせが実施できないことを遠因とした企画自体の頓挫

などが発生しています。過去からの継続業務を着実に進行させることにより、今期末までには一定の成果をあげることができましたが、人々が生活全般にわたり制限を受けるなかで、今後の事業活動に向けた新規企画の立案に課題を残しています。ratikは、元々電子書籍など新しいメディアを介した学術・実践のコミュニケーションの活性化を指向していますので、現在の状況、需要に見合った新たな事業活動をより積極的に見出していきたいと考えています。

学術専門書の電子出版事業で、今期は3点の新刊を発行することができました。

また、昨年度末から完成部分から公開を始める発行方式をとっていた有償webコンテンツは、オンライン講義の進捗に連動させ全編、完成にいたり、教材として受講者のみなさんに有効に利用していただきました。販売面では、今期は、既刊を含め22点（うち2点は無料公開）の発行を継続し、電子書籍ベースの年間総販売冊数（有償分）は395冊になっています。

このうち、学会に監修していただき、出版助成を受けて発行した今期の新刊1点については、学会員特別割引価格を設定し、学会でもアナウンスをしていただいたこともあり、普及が進みました。今後、統計ソフト「R」を用いたシングルケースデザインの研究成果のとりまとめに広く利用されていくものと思われます。

「授業内容に合った安価な教材を学生に提供する」というコンセプトのもと2018年度から取り組みを続けてきた大学講義用の印刷媒体のテキスト1点については、当該講義の実施最終年度となり、2020年度の春学期・秋学期、各半期の授業で462名のみなさんのお手元に届けることができました。これで2年間合計で1,189名の方々に書籍を手にしていただいたこととなります。特に今年度は、感染症対策で学生の構内立ち入りさえもが規制されるなか、オンライン通販はじめ種々の工夫で教科書販売にご尽力くださった大学生協のみなさんには頭が下がります。

ratikで編集事務局を務める日本マインドフルネス学会の査読付き機関誌・電子ジャーナル「マインドフルネス研究」では、2020年12月に定例号となる第5巻 第1号を発行しました。

同様に企画・編集・制作・公開を担当している〈身〉の医療研究会の機関紙「〈身〉の医療」については、2021年3月にオンライン開催となった第6回研究交流会の内容をもとに、執筆者の方々とは第6号の企画・制作を進めています。

なお、今期、沖縄での開催が予定されていた日本マインドフルネス学会大会にかわり、オンラインにて開催されることになった第7回大会において、一般研究発表（オンライン抄録発表）の査読進行、大会プログラム・抄録集の制作などの業務を担当したほか、大会コンテンツ動画配信等のプラットフォームとなるwebサイトを制作・運営しました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関わる事業

主に人文・社会科学系の諸学問や、学問に根ざす各種実践に係る専門図書の新刊を電子書籍等として企画・編集・制作・販売する事業

事業内容	具体的な事業項目	(A)実施日 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)受益対象者の人数	事業費の金額 (単位：円)
電子書籍の企画	既存文献等の探索	(A) 不特定 新刊3点の発行、 計22点の書籍の販売・公開。 うち10点については印刷・製本の オプションサービスを実施。	(D) 著者ならびに読者 研究者・実践家を 中心に広く市民一般 (E) 不特定多数 年間の書籍売上部数は 電子版395冊 印刷・製本版709冊	3,507,476
	学会、研究会等の聴講			
	執筆者候補とのやり取り 編集会議			
電子書籍の編集・制作	編集・校正作業	著者と新刊を企画・制作中。		
	電子書籍ファイルの制作			
電子書籍の販売	販売システムの構築、改良	講義用教材、販売。 学会・研究会の査読付機関紙等 (電子ジャーナル) 発行に伴う 編集事務局業務の継続、 2020年12月には、 当該年度号を発行。 (B) アウトプットの電子書籍は、 ratikの法人web サイト上で販売 https://ratik.org (C) 2人		
	販売システムの運用			
	広告・宣伝活動			

上記の出版事業や、学術・実践の発展、ひいては豊かな市民社会の形成に資する情報を
 収集・整理・発信する事業

事業内容	具体的な事業項目	(A)実施日 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)受益対象者の人数	事業費の金額 (単位：円)
情報の収集	既存文献等の探索	(A)不特定 学会・研究会の査読付機関誌等 (電子ジャーナル) 発行に伴う 編集事務局業務の継続、 2020年12月には、 当該年度号を発行、 後続号を企画・制作中。 マインドフルネス学会第7回大会 (オンライン開催) の運営業務 を実施(2020年12月～2021年 1月)。 (B)成果物の一部は、 ratikの法人web サイト https://ratik.org あるいは 学会・研究会webサイト等 https://mindfulness.jp.net/ http://minoiryoo.org/index.htm にて公開されている。 (C) 2人	(D) 研究者・実践家を 中心に広く市民一般 (E) 不特定多数 マインドフルネス学会 第7回大会の参加対象 となる学会員は 約550名	1,118,800
	学会、研究会等の聴講			
	研究者・実践家とのやり取り			
情報の整理	情報の体系化や重みづけ			
情報の発信	自社webサイト等での 情報発信 サイトの管理、更新			